

適正な田植作業の実践と、地力に応じた基肥施用、的確な水管理により、初期生育を確保しましょう！

- 〈R4年産の重点目標〉 初期生育の確保
- ① 播種時期を遅くし、「老化苗」にしない
  - ② よく換気し「軟弱徒長苗」にしない
  - ③ 葉ヤケ・カビ・ムレ苗を発生させない
  - ④ 田植えは5/15 中心とする
  - ⑤ 栽植密度は原則 70 株/坪とし、深く植えない

R4重点技術対策

## 1 育苗ハウスの温度管理 参照ページ:p60

- ・換気を徹底し、ハウス内の温度が **25℃**以上にならないようにしましょう。
- ・田植えの10日前頃からは**昼夜ともにハウスのすそを開けて**、外気に慣らしましょう。

## 2 田植え作業 参照ページ:p64~65

- ・田植前に植付爪の状態をチェックし、摩耗している場合は交換しましょう。
- ・強風など天気の悪い日の田植えを避けましょう。

R4重点技術対策  
コシヒカリの田植えは  
**5月15日を中心に**  
実施しましょう！

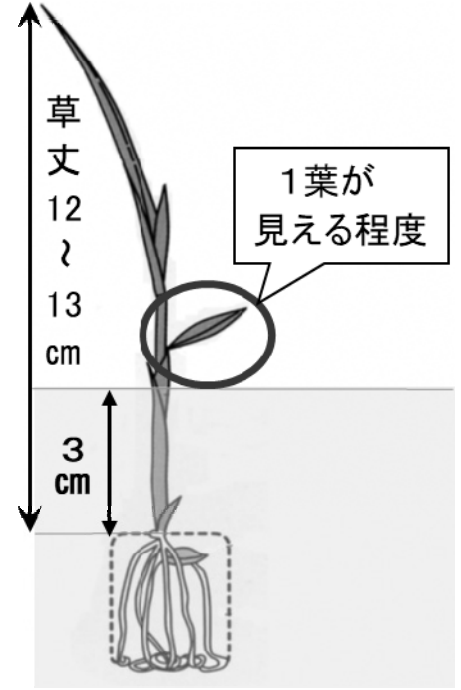


図1 適正な植付深さ

表1 田植機の設定

R4重点技術対策

項目	設定	留意点
栽植株数	70 株/坪 ※株間の目安:16cm 2m 間に12~13 株	作業速度や土壌条件により増減するため、 試し植えをして確認・再調整する
植付本数	3~4 本	掻き取り量が「標準」では多くなりやすいため、 「やや少なめ」とする
植付深さ	3cm (図1参照)	「標準」ではやや深めになるため、 「やや浅め」とする

## 3 基肥施用 参照ページ:p65

- ・基肥量は、**土壌区分や圃場条件に応じて適正量を施用**し、初期生育を確保しましょう（表2、3）。
- ・田植中は、肥料が落ちていることや、使用した袋数を確認し、予定の規定量を確実に施用しましょう。

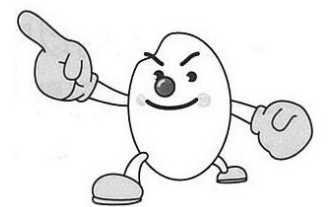
◎規定量を確実に入れるポイント

- ・田植前に施肥ロール、ブラシを点検・清掃する（特に、施肥ロール部の詰まりはコンプレッサー等で除去）。
- ・肥料袋の裏に記載してある比重を確認し、ほ場のスリップ率や田植機の特性を把握して、目盛を調整する。

表2 コシヒカリの基肥施用の目安

土壌区分	基肥一発栽培				分施栽培 ※ 側条施肥	
	〈標準タイプ〉		〈省カタイプ〉		肥料名	施用量 /10a
	肥料名	施用量 /10a	肥料名	施用量 /10a		
砂壤土 壤土	Jコートコシヒカリ1号	35kg	けい酸加里入り Jコートコシヒカリ1号	41kg	基肥206	32kg
半湿田 黒ボク土	Jコートコシヒカリ2号	30kg	けい酸加里入り Jコートコシヒカリ2号	35kg		25kg
粘質土		27kg		32kg		23kg

土壌区分、肥料の種類により施用量が異なります。必ず確認しましょう。



※ 分施体系の全層施肥の方は、各営農経済センター又は農林振興センターまでご相談ください。

- ・「てんたかく」は、**過剰籾数による「登熟歩合の低下」と「倒伏」を防ぐため**、基肥量が過剰にならないよう注意しましょう。

表3 てんたかくの基肥施用の目安

土壌区分	基肥一発栽培 標準タイプ		分施栽培 側条施肥	
	肥料名	施用量 /10a	肥料名	施用量 /10a
	砂壤土 壤土	LPs早生専用	40kg	基肥206
半湿田 黒ボク土	35kg		35kg	
粘質土	30kg		30kg	

### 【YouTube】JA アルプス農業情報ボックス

5 育苗ハウスの管理ポイント 	6 田植え 	7 水管理 (田植後 ~中干し前) 	8 除草剤の散布 
--------------------	-----------	-----------------------	--------------

## 4 田植後の水管理

参照ページ:p66

- 田植後は速やかに入水し、上から2枚目の葉が隠れる程度の「やや深水管理」を行きましょう。
- 活着後は水深2～3cmの「浅水管理」で田水温を高め、分けつの発生を促進しましょう。(以上図2)
- 入水は早朝または夕方以降に短時間に行い、日中は止水にしましょう。
- 強風時や低温時は、やや深水管理で苗を保護しましょう。
- 中干し開始までは浅水管理を続けますが、湛水状態が続くと根腐れが発生する場合がありますため、必要に応じて晴天日に軽い田干しを行きましょう。

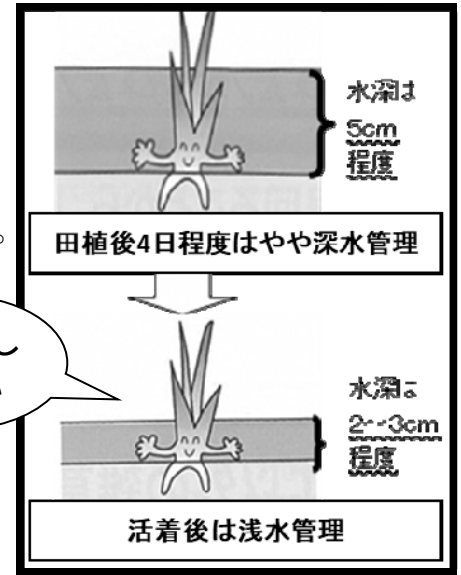


図2 田植え後の水管理のイメージ

## 5 除草剤の散布

参照ページ:p67

- 代かきから田植えまでの日数は7日以内になるよう作業計画を立てましょう。
- 雑草の発生状況に応じて、使用する剤や体系を決めましょう(図3参照)。
- 散布の際は、水口、水尻をしっかりと止め、田面が露出しないよう水深5cm程度を保ちましょう。
- 散布後7日間は止め水管理とし、水田外への流亡を防ぎましょう。

### <田植同時除草剤使用上の注意点>

- 植穴の戻りや、水持ちの悪い圃場では使用を控える。
- 軟弱徒長苗の使用や、極端な浅植え・深植えは避ける。
- 移植終了後、速やかに入水する。
- 薬害や除草剤処理層の破壊を防止するため、補植作業は行わない。

除草効果を十分に発揮させるため、処理時期や水管理を適切に行いましょう!

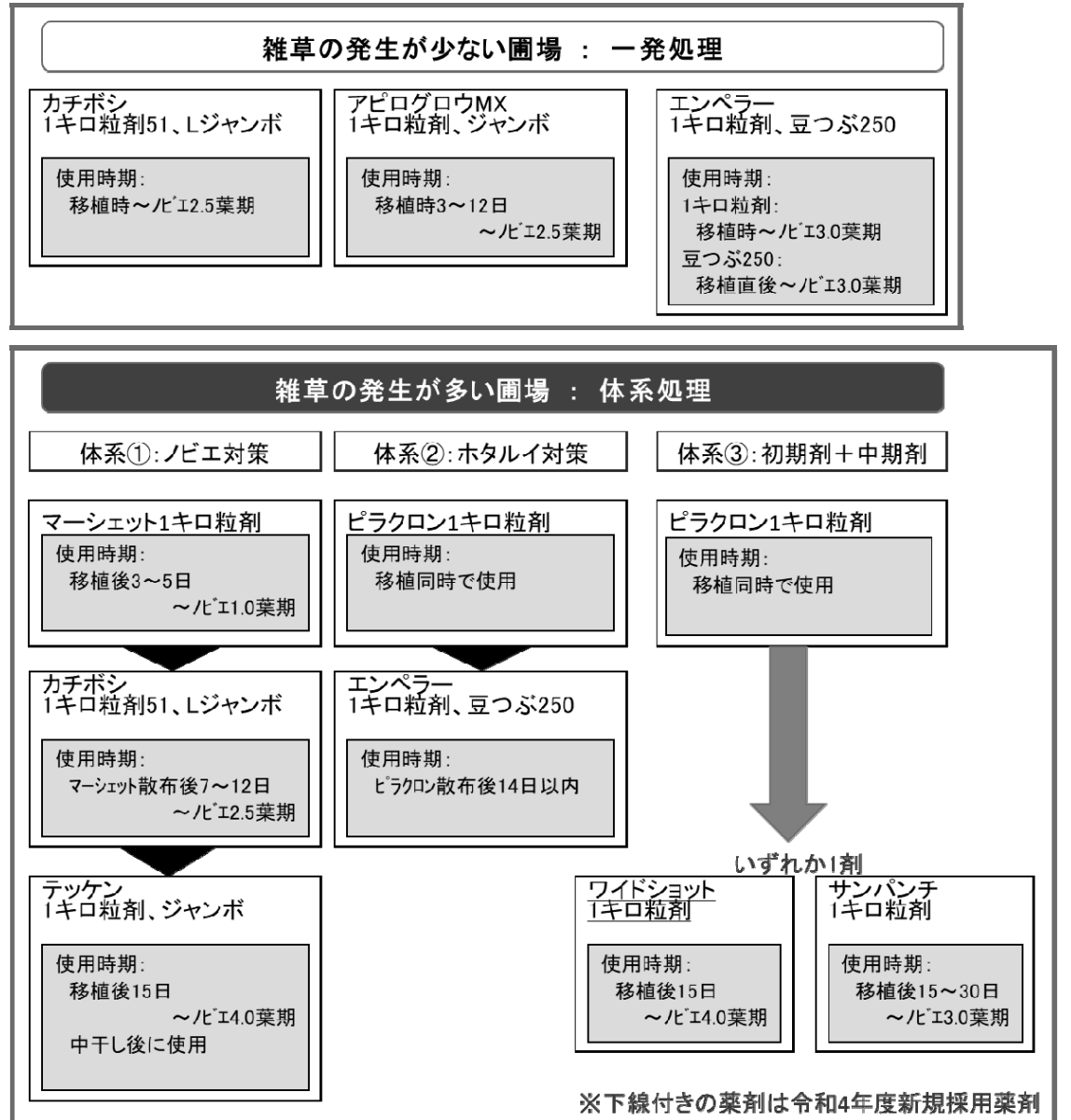
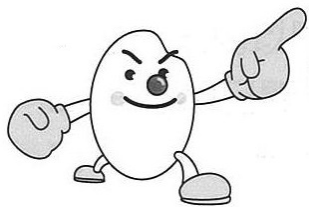


図3 移植雑草防除体系例

## 生産記録簿兼GAPチェックシートの記帳

作業を実施する毎に、記録簿を記入しましょう。  
記録簿はJAアルプスのホームページからも入手できます。

種子や苗の購入先、育苗方法など、もれなく記入してください。  
適宜確認シートで作業内容をチェックしましょう!



### 春の農作業安全運動実施中(4/1～5/31)

- トラクターや田植機の使用前には、必ず安全確認を行きましょう。
  - とやまGAP規範に基づき、事前に危険を把握し、改善に努めましょう。
- 春の農繁期は農作業事故が発生しやすい季節です。農業者の安全確保に留意しましょう。

安全・安心なアルプス米生産のための確認シート			
氏名		時期(目安)	チェック
(1)まづり まづり資材(ケイ酸資材等)や有機物(堆肥、緑肥等)の施用によるまづりを行いましたか。	4月		/
稲わらは野焼きせず、堆肥の原料や飼料として利用したり、圃場にすぎ込みなど、適正な処理をしましたか。	11月		/
(2)農薬・肥料の適正施用	時期(目安)	チェック	月日
2022年産米生産記録簿	農協営農指導員確認	/	印 /
品種	作付面積	a	/
氏名	電話番号		/
住所	生産組合		/
栽培方法	<input type="checkbox"/> 移植 <input type="checkbox"/> 直播 ( <input type="checkbox"/> カルバートレーン <input type="checkbox"/> 鉄コレーン <input type="checkbox"/> 乾田/溝 <input type="checkbox"/> 他( )		/
①施肥日誌	まづり資材、肥料名	施用月日	施用量(10a)
まづり	資材	月 日～ 月 日	kg
	資材	月 日～ 月 日	kg
	堆肥	月 日～ 月 日	kg
	基肥	月 日～ 月 日	kg
施肥	中間追肥	月 日～ 月 日	kg
	穂肥	月 日～ 月 日	kg
②防除日誌			

## お知らせ

### 〇消毒済み種籾の無料廃棄処分について

4月25日(月)～5月30日(月)まで、フレコンを設置します。廃棄にあたっては必ず袋から出してフレコンに投入してください。  
◎設置場所: 立山(たてやま支店敷地内線路沿い屋根付き小屋)、上市(上市営農経済センター)、滑川(滑川営農経済センター)